

平成 26 年（2014 年）9 月那覇市議会定例会

一般質問発言通告書（2 日目）

平成 26 年 9 月 16 日（火）

※1 人当たり 15 分間（答弁を除く）

順位	氏 名 (会 派 名)	発 言 事 項	発 言 要 旨
1	中村 圭介 (無所属の会) <div data-bbox="231 712 435 837" style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content;">質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</div>	なは市民協働 プラザ条例につ いて	<p>(1) 現在の条例案第 13 条では、那覇市 NPO 活動支援センターをなは市民活動支援センターにすることで利用者の範囲が狭くなるように見える恐れがあるのではないか。見解を伺う</p> <p>(2) なは市民活動支援センターやなは女性センターとは違い、なは産業支援センターについては休館日の記載がないが、情報提供や経営相談などの支援業務はいつ行うのか。また、支援業務を行う場所はどこか伺う</p> <p>(3) なは市民活動支援センターの事務室利用団体は 24 時間利用可能なのか伺う</p> <div data-bbox="746 1955 1153 2033" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</div>

一般質問（2日目） 平成26年9月16日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
2	<p>前田千尋 (日本共産党)</p> <p>質問方式 一問一答方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 生活保護行政について</p> <p>2 男女共同参画行政の充実について</p> <p>3 中心市街地活性化の充実について</p> <p>4 平和教育行政の充実について</p>	<p>生活保護は憲法第25条に定められている国民の最低限度の生活を営む権利を保障するものである</p> <p>(1) 本市の生活保護の現状(人数、世帯数、割合、年齢構成)を問う</p> <p>(2) 生活福祉資金貸付制度と活用状況について問う</p> <p>(3) 生活保護世帯のクーラー設置状況と、クーラー設置の要望や費用に関する当局の対応、熱中症対策について問う</p> <p>(4) 医療券の交付状況(人数)と、通院移送費(病院交通費)受給状況(人数、割合、費用)について問う</p> <p>(1) 第3次那覇市男女共同参画計画「なは男女平等推進プラン」の基本目標の実践と成果について問う</p> <p>(2) 教育現場における男女混合名簿の意義について問う</p> <p>中心市街地のにぎわいを創設していくために、①老朽アーケードの改修、②トイレの増設、③公設市場の空き小間対策、④商店版リフォーム助成事業の創設などの課題は急務である。対策を問う</p> <p>那覇市内で、戦争の悲惨さを伝え、平和の尊さを学べる施設が対馬丸記念館である。これまでも、さらなる活用を求めてきた。戦争を知らない世代へ、平和の思いを継承するためにも、対馬丸記念館の活用と平和教育の充実が求められている。見解と対応を問う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
3	<p>多和田 栄子 (社民党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 幼稚園教育について</p> <p>2 学校事務について</p>	<p>沖縄県は27年間の米軍統治下の影響で他県と比べても小学校と併設する形で公立幼稚園が作られ、現在も幼稚園就園率は全国一のレベルである。すなわち、幼小連携がすでに確立されていた。このことは世界でも類がないと言われている。小学校入学前のスタートといえる幼児教育は、子どもたちの安心・安全を守るためにも、幼児一人ひとりの発達に応じたきめ細かな指導、生きる力の基礎を培うものである。そのことを踏まえ、以下伺う</p> <p>(1) 本市の幼稚園教諭の正規職員と臨時職員の比率はどうなっているか、伺う</p> <p>(2) 子どもたちの就学前教育充実のためにも「定数内臨時」を解消して正規職員を採用すべきである。しかし、実態は多くの臨時職員が雇用されている。臨時職員の継続状況はどのようなになっているのか、見解を伺う</p> <p>(3) 那覇市の幼稚園において預かり保育が実施されているが、人員体制は十分でない。預かり保育指導員の配置について、見解を伺う</p> <p>那覇市内の学校間において、学校事務職員配置にばらつきがあり、事務職員の過重労働が指摘されている。そこで以下伺う</p> <p>(1) 学校事務補助員の勤務時間及び職員配置状況はどのようなになっているのか伺う</p> <p>(2) 給食費の徴収取り扱いについての事務処理はどのようなになっているのか伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 平成26年9月16日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
4	<p>大浜安史 (公明党)</p> <p>質問方式 総括質問方式 (質問席のみ)</p>	<p>1 救急救命士について</p> <p>2 那覇市営住宅活用用地活用事業について</p> <p>3 石嶺小学校校舎改築について</p>	<p>救急救命士の国家資格を取得するためには、「救急救命士研修生選抜テスト」に合格した後に、研修を終えて救急救命士国家試験に合格する必要がある。市民が安心安全に暮らすためにも救急救命士の強化は重要と考えるが、以下の点について伺う。</p> <p>(1) 救急救命士の現状について伺う</p> <p>(2) 救急救命士の今後の取り組みについて伺う</p> <p>(1) 久場川第2期分の活用用地が、6月25日(水)から7月1日(火)に公募受付、7月29日(火)に審査会が行われ総合評価で決定している。公募に何業者エントリーしたのか、審査項目、配点はどうなっているのか、事業の目的、経過、審査結果について伺う</p> <p>(2) 市営住宅活用用地活用事業ではこれまで何件の土地を処分したのか。また、どのように業者を選定し、審査評価に基づいた事業は計画通りの内容でスタートをしているのか、また、市民からどのような評価を受けているのか伺う</p> <p>石嶺小学校は、昭和54年開校以来、築35年を経過している。老朽化も激しく危険な状況の中で児童生徒は授業を受けている。先生方や保護者より一日も早く校舎を改築して欲しいとの声がある。いつ頃になるのか実施計画について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、教育長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 平成26年9月16日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
5	<p>山川 典二 (自民・無所属・改革の会)</p> <p>【質問方式】 総括質問方式 (演壇・質問席)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>2 観光行政について</p> <p>3 本市のエネルギー政策について</p>	<p>翁長那覇市長は今年の2月那覇市議会定例会の本員の代表質問において、知事選挙出馬を確認した際「歴代市長の方々と肩を並べることができるよう全力を尽くす」、「残された任期を、責任を持って全うしていきたい」と答弁した</p> <p>市長は先日正式に知事選挙出馬表明をしたが、市長任期2年を残した責任の所在を含め、知事選挙出馬までの経緯と動機を伺う</p> <p>また、仮に知事選挙当選後、任期中に「辺野古移設容認」の立場に変節しないよう明確に約束できるのか伺う</p> <p>今年度の那覇港への観光クルーズ船の寄港実績、今後の予定、経済波及効果額等について伺う</p> <p>大市場のアジア・中国を意識し那覇港を観光クルーズ船の起点港(ハブ港湾)として取り組むよう、これまでの本会議等で提言しているが、本市の見解を問う</p> <p>21世紀の沖縄県の経済産業振興の大きな柱として可能性の高いエネルギー産業。東西1,000km、南北400kmの大変広い県域の中に膨大な資源・エネルギーが眠っている。沖縄県は資源・エネルギーの宝庫である。そのひとつの本市の地下資源「水溶性天然ガス」の活性化、産業化の促進を提案しているが、奥武山公園の試掘事業の現状と利活用計画について伺う</p> <p>【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長</p>

一般質問（2日目） 平成26年9月16日（火）

順位	氏名 (会派名)	発言事項	発言要旨
6	翁長 俊英 (公明党) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">質問方式</div> 一問一答方式 (質問席のみ)	1 協働によるまちづくりについて 2 繁多川2丁目の防災道路の整備について 3 教育行政について 4 健康行政について	翁長市長の推進してきた、市民で支え合う協働のまちづくりについて、市長見解を問う (1) 特に特徴的・印象的な活動とその成果等について伺う (2) 協働によるまちづくり施策について、次の市政に望むものは何か 進捗状況と今後のスケジュールについて 真和志小学校特別支援学級のクーラー設置について 地域のイベント等における健康診断及び特定健診の実施について
			【答弁を求める者】 市長、副市長、関係部長